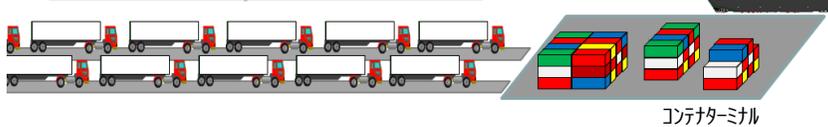


- ・万博開催直後の4月14日(月)から最長5月10日(土)の4週間において、港湾関係者の協力のもと、昼休み等にターミナルゲート時間延長を実施する予定。
- ・実施に際しては、万博交通及び物流交通に対する対策効果を確認し、万博開催期間中の対策実施の判断にも活用していく。
- ・上記期間以降の実施時期については、交通シミュレーションで見込んでいる物流車両約11,200台/日を超える場合を原則とする。

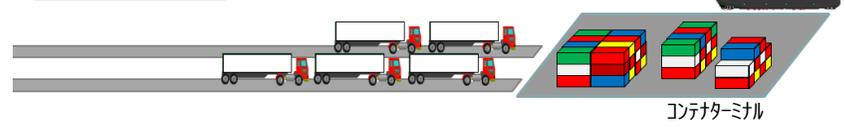
【イメージ図】

【ゲートオープン時間】(通常)
8:30~11:30, 13:00~16:30



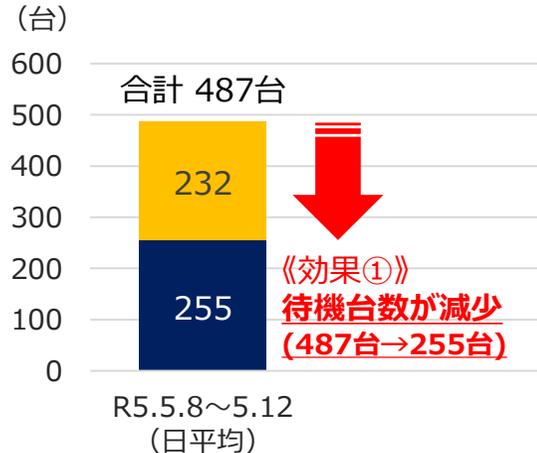
・ゲートオープン時間を延長することにより、ゲート前混雑を緩和

【ゲートオープン時間】(対策例)
7:30~16:30



【実施効果】

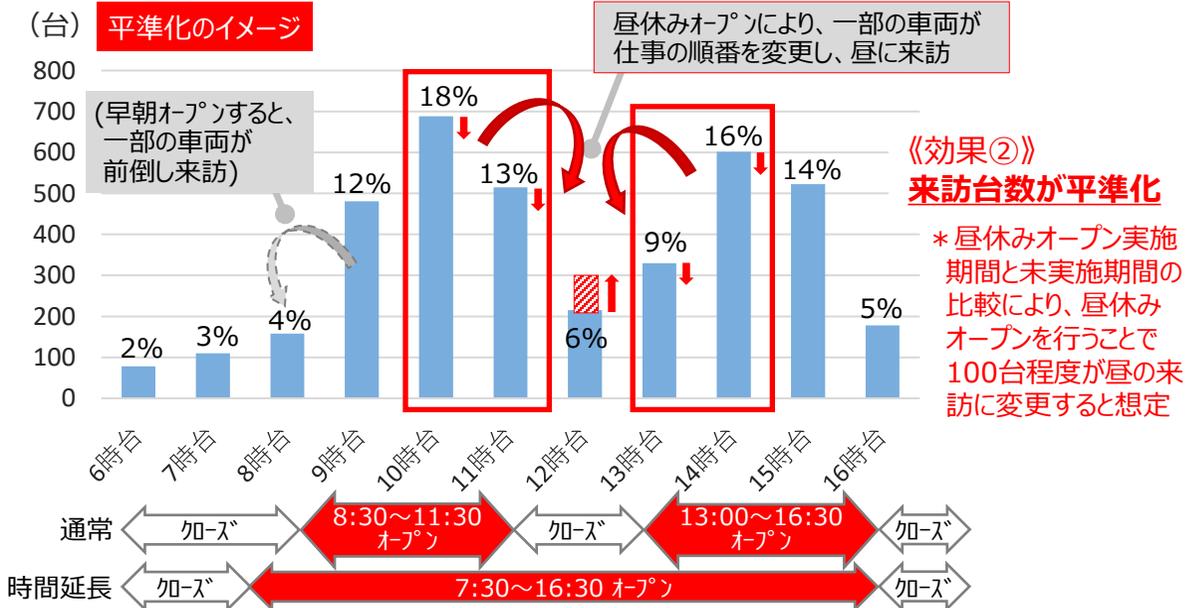
昼休み処理台数と13時時点待機車両台数
 (夢洲コンテナターミナル)



- 昼休みのゲート処理台数
- 13時時点の待機車両台数
 (待機車両は待機場場に引き込み)

時間帯別 コンテナ車両来訪台数

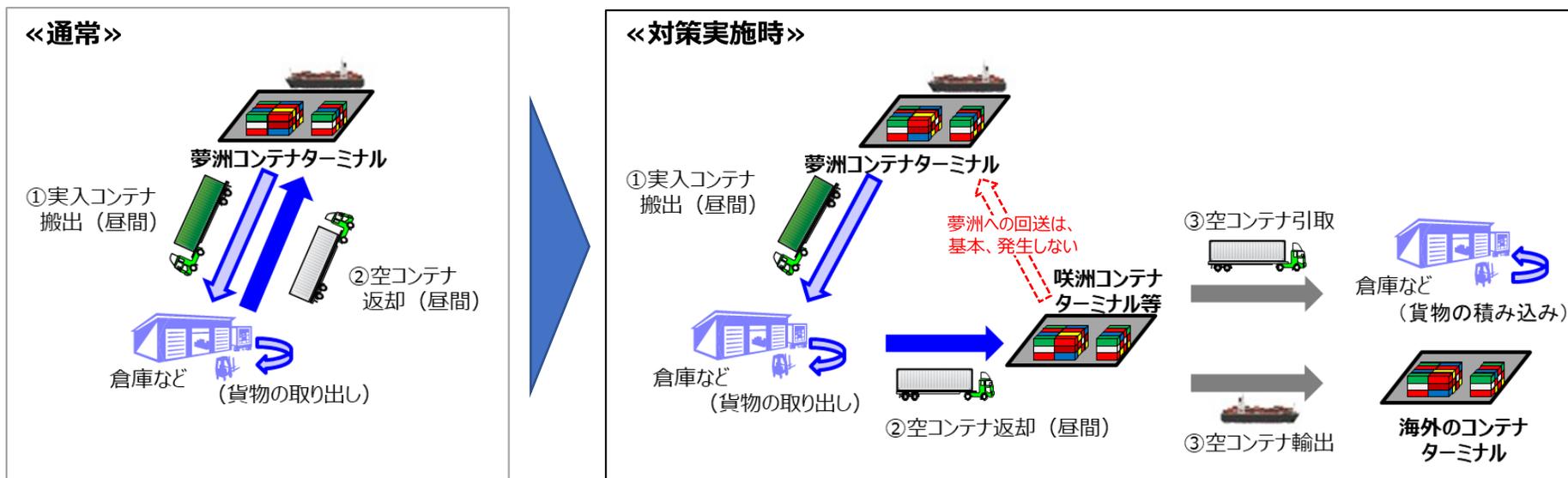
(R2.9.29調査結果(夢洲コンテナターミナル) (混雑期の台数に補正))



追加的対策B 「咲洲へシフト（空コンテナ返却場所一時移転）」

- ・夢洲コンテナターミナルに返却される空コンテナの一部について、夢洲以外のコンテナターミナル等への返却を促進するために、夢洲コンテナターミナル空コンテナ返却場所一時移転促進事業補助金を4月に創設予定。なお、補助金の交付の対象となる時期・期間については、万博開催期間中の交通需要等を踏まえて決定する。
- ・博覧会協会による交通需要予測等も踏まえ、空コンテナ返却場所一時移転について、万博開催期間中において、原則、交通シミュレーションで見込んである物流車両約11,200台/日を超える場合に実施する。

【イメージ図】



【実施効果】

当初の手法（150台/日）と同程度の効果を見込む